

生産性向上を目的に工場などへのロボット導入が進む中、県内製造業関係者の中で、ロボット化をサポートする「システムインテグレーター(Sier)」と呼ばれる企業群への関心が高まっている。専門技術を持つSierはロボット導入に欠かせない存在。人手不足に苦しむ中小企業の支援やロボット関連産業の育成に向け、県内産業支援機関や業界団体はSierの認知度向上に本腰を入れている。

ロボット化支援

システムインテグレーター

Sierに関心

人手不足解消、産業創出も期待

浜松市北区の自動車部品製造工場。人の背ほどのアーム型ロボットが、3台の加工機の間で忙しく動いていた。部品の搬送、削りくず取り、箱詰めなど複数の工程を1台でこなす。同社と提携するSierのティール(55)は「現場を何度も見て

「エス(同市東区)が手掛けたロボットシステムだ。『うちの生産工程や機械をよく理解してくれている』と工場担当者の評価は高い。同工場の全ロボット導入を支援したティールエスの松原伸幸社長(55)は「現場を何度も見て

ニーズを把握し、かゆいところに手が届くような丁寧なシステムを提示する」と胸を張る。

同市をはじめ県内では異業種参入組も含めSierは増加傾向だ。浜松商工会議所の会員企業でつくるロボット研



工場の生産技術担当者とロボットシステムの今後の改善策を話し合う
松原伸幸ティールエス社長(左)＝浜松市北区の渥美浜北都田工場

支援機関、中小普及に本腰

Q システムインテグレーター ロボットを使った生産設備の設計、構築、保守管理などに一貫対応する専門業者。ロボット単体を製造するメーカーとは異なる。ロボットの先端に付ける作業用ハンドを開発したり、プログラムと連動させたりと、個々の現場の状況に応じたシステムを構築する。略称はSier(エスアイアー)。全国組織のFA・ロボットシステムインテグレータ協会(東京都)の加盟社は約220社で県内は約20社。

究組織は8月、県内Sier11社を紹介する初のガイドブック1千部と専用ウェブサイトを制作した。浜松地域イノベーション推進機構も産業用ロボットの操作講習会を22日から始め、そろって中小企業のロボット化の推進に取り組む。

昨年7月に発足した全国組織FA・ロボットシステムインテグレータ協会の久保田和雄会長(66)は「三明機工社長、静岡市清水区」は「金融機関や自治体にも知ってもらい、地域ぐるみでロボット化を支援してもらおう流れをつくりたい」と意気込む。「製造業の海外移転が進む中、Sierが増えることは国内の新たな産業創出にもつながる」と強調する。

(浜松総局・高松勝)